

来年はTPP参加をやめさせる年

政府や財界は、TPP交渉に参加しないと交渉内容が分からないから「まずは交渉参加」と主張してきました。しかし、報道によれば、現在交渉に参加しているニュージーランドの首席交渉官は、TPP交渉の内容は協定発効後4年間内容を公開しないという合意があることを明らかにしました。これでは交渉に参加しても国民は交渉内容を知ることはできません。

街頭宣伝—いわて食農ネット

12月13日、いわて食農ネットは盛岡市内でTPP参加反対の宣伝行動を行いました。「医療や雇用のことが心配です」「最近になって問題点が分かってきました」と話しながら署名する人もいました。農民連、新婦人、いわて生協、生協連、自治労連、農協労組が参加しました。次回は1月10日。



運動強化を確認—TPP県民会議

12月21日、TPP県民会議の会議が行われ、TPP交渉参加阻止のたたかいはこれからが正念場であり、学習や集会、宣伝行動などの運動を徹底していくことを確認しました。

春闘勝利学習会（1月20日13時30分～志戸平温泉）

TPPで何がどうなるのか どうすればいいのか

講師：農業農協問題研究所理事 横山英信さん（岩手大学教授）

全農協労連副中央執行委員長 斎藤 裕さん（山形県農協労組書記長）

“ふれあい支援” 炊き出し&食事を被災者といっしょに

12月下旬、いわて食農ネットによる復興支援活動が行われ、農協労組からも参加しました。陸前高田の仮設から、高齢者の引きこもりが深刻となっているので“ふれあい”の場を設けてほしいとの要請にこたえて行ったものです。

○22日は長部小学校仮設団地

支援隊は7人。女性チームがサラダ、男性チームが煮込みうどんを準備。煮込みうどんの味付けは仮設のおばあちゃんたちが腕をふるいました。80人の輪の中でいっしょに食べながら交流しました。写真右上



○27日は広田小学校仮設団地

20人の支援隊で200食準備。部活帰りの中学生も誘って交流しました。写真右下

☆避難当時のことや今の苦勞と、「やっと落ち着き、今になって悲しみがわいてくる」「気持ちを切りかえ、がんばっていきたい」などと話していました。☆行動は23日も行われました。大分県の下郷農協女性部から物資とお金の支援があり活用しました。

